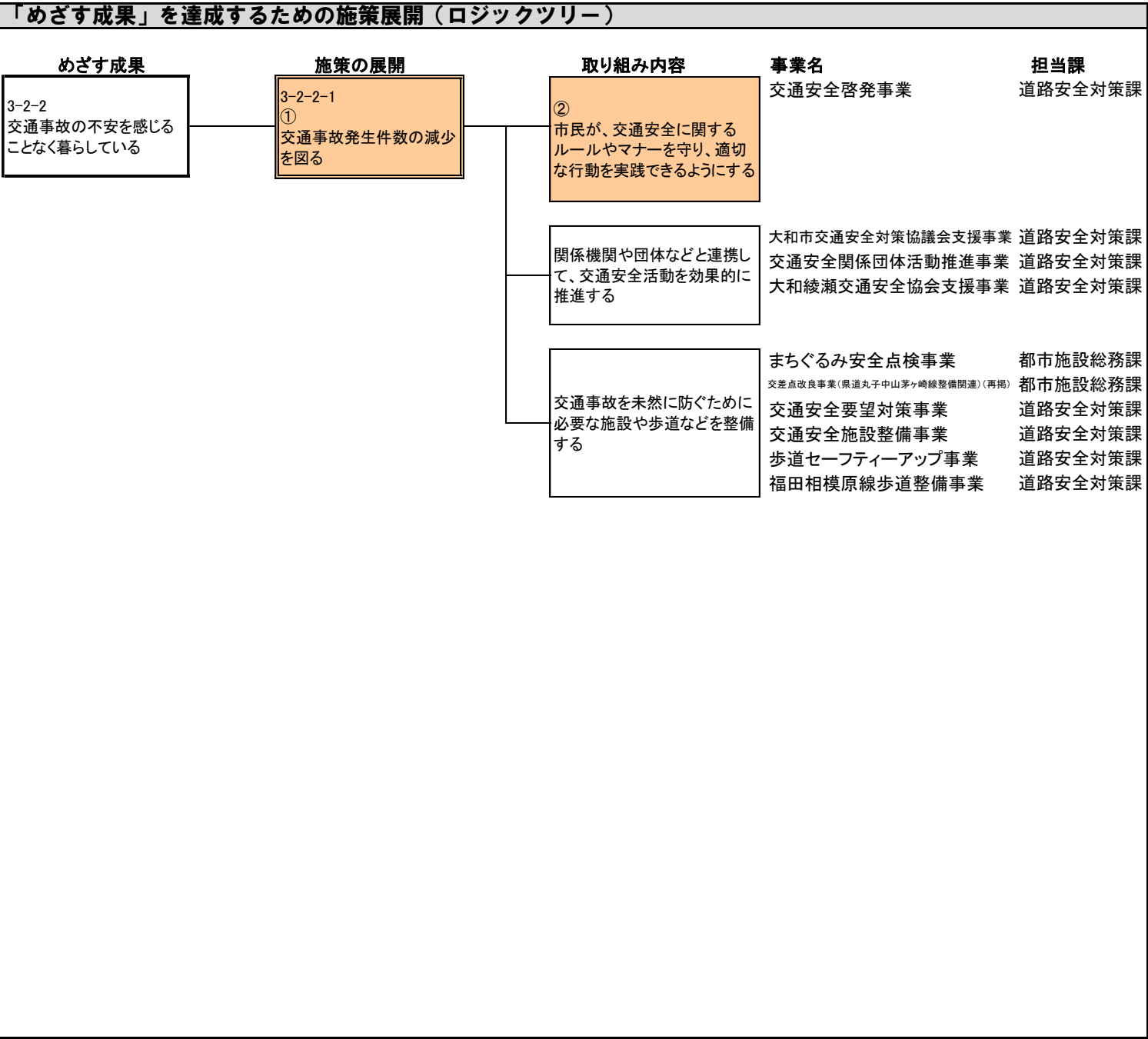


平成２８年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
３－２－２ 交通事故の不安を感じることなく暮らしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	生活の安全性を高める
	めざす成果	交通事故の不安を感じることなく暮らしている
		交通ルールに対する遵守意識が高まるとともに、安全施設の整備が進み、交通事故の発生件数が減少しています。



所 管 部	都市施設部
平成２７年度までの 取り組み内容	【交通事故発生件数の減少を図る】 ・高齢者や子どもの交通安全意識を高めるため、歩き方教室や自転車乗り方教室等を250回実施し、34,302人が参加者しました。 ・自転車のルール遵守とマナー向上のため、自転車安全利用講習会等を開催し、その参加者に認定証等を発行するとともに、TSマークの助成を270件、ヘルメットの助成を450件実施しました。 ・市民の交通安全・防犯に対する意識の向上を図るため、まちぐるみ安全点検を大野原小学校区域、渋谷小学校区域の2小学校区域で実施しました。 ・歩行者の安全や車両の円滑な通行を確保するため、カーブミラーや道路照明灯等の交通安全施設の整備を69箇所で行いました。 ・歩行者等の安全性向上のため、福田相模原線（上草柳地区）において歩道の拡幅に向けた用地を427㎡取得しました。
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・自転車利用者に対して自転車乗り方教室や街頭指導などを実施することで、交通ルールの遵守とマナーの向上に努めていますが、依然として自転車関係事故の割合が高いことから、意識啓発を継続的に行う必要があります。また、自転車事故による被害者救済や加害者の経済的負担の軽減を目的に保険の加入促進策について検討を行います。 ・道路の利便性と安全性を確保するため、市民からの要望を踏まえた交通安全施設を整備することにより、快適な通行と交通事故の防止を図ります。 ・市の骨格をなす都市計画道路である福田相模原線（上草柳地区）は、大型車両等をはじめとする通過車両が多いため、早期に整備を実施し、歩行者や自転車の安全を確保する必要があります。
今後の展開方針	
注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	（該当する事務事業）
既存事業の拡充	（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減	（該当する事務事業）
事業の効率化	（該当する事務事業）
その他見直し	（該当する事務事業）

成果を計る主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時（H20）	最終目標値（H25）	実績値（H25）	実績値（H26）	実績値（H27）	中間目標値（H28）	最終目標値（H30）
	① 交通人身事故発生件数	1,499件	1,300件	1,009件	845件	805件	1,200件	1,100件
	② 交通安全教室等参加者数（イベントを除く）	18,640人	22,000人	20,520人	18,404人	20,645人	22,000人	23,000人